

地域イノベーションの創出に向けた主な取組

これまでの産学官連携による地域科学技術振興施策で培った成果をさらに発展させ、持続的な地域発イノベーションシステムを構築する取り組みが行われています。

北大&ビジネスパーク

食の機能性に着目した「健康科学・医療融合拠点」の形成など「ヘルス・イノベーション」の展開

ライフサイエンス研究を中心とした16の施設が集積する「北大リサーチ&ビジネスパーク」では、これまでも「さっぽろバイオクラスター構想“Bio-S”」の取組を通じて、「食」に関する機能性分析・評価拠点の形成や道産食材の高付加価値化などによる健康科学産業の創出を目指してきた。

平成24年度からは、こうした取組をグローバルに発展させ、北海道の独自性・優位性やこれまで蓄積してきた知識や技術を最大限に活かしながら、世界を先導する医療技術や医薬品の開発、「食」が有する生体機能性に着目した「健康科学と医療の融合」、さらには最先端の医療技術を活用するメディカルツーリズムやフィットネスなど、人間の総合的な健康の維持・増進・回復を目指す『ヘルス・イノベーション』を展開していく。



北大リサーチ&ビジネスパーク

次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点（長野県全域）

研究シーズ志向と市場ニーズ志向の産学官連携システムによる両輪駆動・相乗効果型のイノベーション創出

「信州大学等の学の豊富な素材技術シーズ」と「長野県産業の強みである超精密技術」を融合する研究シーズ志向の産学官連携支援システムに、大学病院等の医療現場ニーズに応えるメディカルモジュール・機器分野をターゲットとした「市場ニーズ志向の製品具現化促進システム」を追加して産学官連携支援システムを発展させることにより、「次世代産業の核となるスーパーモジュール供給拠点」の形成を長野県全域で加速する。特に、「超高速PCR装置」、「蛍光磁性ビーズを用いた高感度臨床検査システム」等のメディカル機器の研究開発・実用化をはじめとして、地域企業が保有する優れた技術の海外企業への売込みや海外の大学・研究機関等とのネットワーク構築等国際的な展開を推進し、国際競争力のあるメディカル機器産業の集積地域を目指す。



MEDICA2011(ドイツ)で地域企業製品の販路開拓

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

光・電子技術と水平連携産業構造で「ライフフォトニクスイノベーション」を展開し、4分野の事業化を推進

産学官金が横の関係で結び付く水平連携型（ネットワーク型）の産業構造を構築し、最先端の光・電子技術を基盤として、「ライフフォトニクスイノベーション」を展開し、「輸送機器用次世代技術産業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」「新農業」の新産業4分野の基幹産業化を図ることにより、より良いQOL(Quality of Life)を志向する安全・安心・快適で持続的に成長可能な社会を実現する。



福岡次世代社会システム創出推進拠点

社会ニーズ主導型開発推進による地域新成長産業の発展促進

本地域では、これまでに育成してきた新成長産業（先端半導体、バイオ、ナノテク、自動車、水素エネルギー、ロボット、情報コンテンツ、環境低炭素）の国際競争力をさらに高め、アジアを中心とした海外の発展エネルギーを積極的に取り込むことにより、日本経済の発展を強力に牽引するイノベーション拠点の形成を目指す。

高度情報社会、低炭素社会、健康・長寿社会等の世界が直面している課題に対応し、イノベーションを連続的に創出するために、本地域では、課題解決を目的とした多様な次世代社会システムの開発を積極的に実施し、「社会主導型研究開発モデル」の確立に取り組む。また、開発成果の国際標準化を強力に進め、アジアをリードする世界トップクラスのイノベーション拠点「福岡次世代社会システム創出推進拠点」の形成を図る。



先端半導体研究開発拠点